**令和７年度「学術知デジタルライブラリの構築（X-DiPLAS）」**

**公募プロジェクト申請書**

１．申請者

所属研究機関・部局・職名：

氏名（フリガナ）：

２．申請課題名：

３．これまでの申請実績（いずれかに○をつけてください）

　　　（　　）今回が初めての申請

　　　（　　）以前に申請したことがあるが採択されなかった（申請年度：　　　　　　　）

　　　（　　）これまでに申請・採択されたことがある（採択年度：　　　　　　　）

４．関連する研究プロジェクト（研究代表者または研究分担者として参加したものにかぎる、ただし終了したものでもよい）

　　　課題名：

研究代表者名：

研究代表者／分担者の別：

　　　研究期間または研究助成を受けた期間：

　　　交付（予定）額：

　　　　□研究代表者の承諾を得ている。

　　　　　（応募者が研究分担者の場合、□にチェックを入れてください）

　　　科学研究費助成事業を受けた場合、当該研究課題の研究種目、課題番号、所属研究機関を明記してください。

　　　研究種目：

　　　課題番号：

　　　所属研究機関：

５．審査希望区分（いずれかに〇をつけてください）

（　　）カテゴリーA（写真資料（ガラス乾板、ネガ、ポジなど）のデジタル化とテキスト情報の入力支援を必要とするもの）

（　　）カテゴリーB（写真資料（ガラス乾板、ネガ、ポジなど）のデジタル化を必要とするが、テキスト情報の入力は申請者自身がおこなうもの）

（　　）カテゴリーC（フィルムやガラス乾板などの資料を含まず、すでにデジタル化されている画像のデータベース化だけを必要とするもの）

* いずれのカテゴリーにおいても、対象となる写真資料の点数は原則として 5,000 点以下とします。

６．「学術知デジタルライブラリ」への登録を希望する写真コレクションについて

（②～⑨については、複数ある場合は列挙すること）

①種類・数量：　ガラス乾板（　　点）・ネガ（　　コマ）・ポジ（　　点）・

デジタルカメラ等で撮影されたデジタル画像（　　点）・その他（　　　（　　点））

（数量は合計5,000点を超えないように記載し、超過分は以下「７.上記写真を含むコレクション全体像について」に記入すること）

②撮影地域：　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：コンゴ民主共和国テトゥリ地方）

③撮影年代：　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：1960 年 4 月～1962 年 10 月）

④撮影者：　　　　　　　　　　　　　　　　　　（例：梅棹忠夫（故人））

⑤著作権：　　（例：撮影者が保持、故人のため遺族が継承、撮影者の生前に譲渡、など）

⑥著作権者（３名以上の場合は、行を追加して記載すること）：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 著作権者氏名 | 撮影者との関係 | 公募プロジェクトとの関係 |
|  |  |  |
|  |  |  |

⑦所有者および現在の保管場所：　　　　　（例：申請者本人、撮影者が自宅に保管、海外の研究所に保管、など）

⑧収納状態： （例：「スライドトレイ、スリーブに入れたうえでプラスティック製の箱ないしはバインダーに収納」、「バインダー○冊分を段ボール○箱に収納」など具体的に）

⑨整理状態： （例：「スライドトレイにテーマごとに分類済み」、「各スライドに番号付け済み」、「Excel 等でリスト作成済み」、「未整理」など）

⑩写真コレクションの画像サンプル：

［本欄に貼り込むか、あるいは画像ファイル（.jpg等）を別添で提出も可］

（画像サンプルを添付するのがむずかしい場合は、本欄にその理由を記載すること）

⑪当該写真コレクションの重要性（400字以内）：

⑫上記「２」の研究プロジェクトとの関わりと、「学術知デジタルライブラリの構築」への参画がその研究にいかに貢献するか（400字以内）：

⑬同一の研究プロジェクトに関わる提案や同一の写真／動画コレクションに関わる提案を、複数名でおこなう場合の理由（統一する調整を試みた経緯も明記すること）：［該当しない場合は記載の必要は無し］

７．上記写真を含むコレクション全体像について

（今回申請する資料以外にデジタル化・データベース化を希望する資料があれば、申請分を含む全体の数量を記載。また、今回の申請分を優先的に依頼する理由など）

８. 写真コレクションに関連した出版物

　　（テキストデータ付与をおこなううえで参考となる論文や書籍など、DOIがあれば併記すること）

９．写真コレクションの公開にさいして留意すべき点

　　（著作権やプライヴァシー、カルチュラルセンシティビティなど）

１０．申請者の連絡先

勤務先住所：（〒　　‐　　）

同電話番号：

メールアドレス：